

木更津市新型コロナウイルス等対策行動計画改定（素案）一概要一

計画の目的

1. 感染拡大を可能な限り抑制し、市民の生命及び健康を保護する
2. 市民生活及び市民経済に及ぼす影響が最小となるようにする

目的はそのままに、
新型コロナウイルス感染症の対応で
得られた経験や知見を踏まえた改正です。



計画の概要

第1章 (素案：3～4ページ)

国の政府行動計画及び県行動計画が、新型コロナウイルス感染症の対応経験を踏まえて改定されたことを受け、本市の行動計画も改定が必要となった背景と経緯を記載。

第2章 (素案：5～18ページ)

本計画の目的を示すとともに、対策を推進するための留意点や役割分担、各対策項目に加え、対策項目に共通して考慮すべき横断的な視点など基本的な考え方を記載。

第3章 (素案：19～50ページ) ※各対策項目について、準備期・初動期・対応期に分けて整理して記載。

対策項目		準備期 (発生前段階・平時)	初動期 (感染症発生段階)	対応期 (封じ込めを念頭に対応する時期以降)
①	実施体制	庁内の訓練や体制整備を進めるとともに、関係機関と情報共有や連携を強化する。	必要に応じて市対策本部会議を開催し、市及び関係機関の実施体制を強化するとともに、迅速な対策実施のための必要な予算確保に努める。	流行が長期にわたることも想定する一方で、市及び関係機関における実施体制を状況に応じて整備、見直しを行う。
②	情報提供・共有、 <u>リスクコミュニケーション</u>	感染症に関する基礎的な情報を共有するとともに、市民が適切に判断・行動できるよう取組を進める。	科学的根拠に基づく正確な情報を迅速に共有し、市民の不安の解消に努めるとともに、市民の適切な判断と行動を促す。	対策の考え方を含む正確な情報を継続して共有し、市民の適切な判断と行動を促す。
③	まん延防止	有事の際、市民等からまん延防止措置への協力を得られるよう、感染対策に対する理解促進に取り組む。	まん延防止対策を迅速かつ的確に実施するとともに、医療提供体制確保のための時間を確保に努める。	緊急事態措置等の対策の効果及び影響を踏まえ、感染拡大の状況に応じた対策を迅速かつ柔軟に実施する。
④	<u>ワクチン</u> NEW	円滑な接種を実現するため、国や県、関係機関等と連携し接種体制の構築を図るとともに、必要となる資材等の確保を行う。	準備期から構築した接種体制を迅速に運用するとともに、国・県と連携し円滑に接種が受けられるよう準備する。	接種を実施するとともに、ワクチン供給量や実施体制について随時見直しを行い、柔軟に調整し運用が可能な体制を維持する。
⑤	<u>保健</u> NEW	人材確保と情報共有の基盤を整えるとともに、地域の感染症対応力を高める。	リスク情報を迅速に共有し、市民の不安を解消するとともに、地域の協力を得た感染リスク低減を図る。	関係機関と連携して感染症危機に対応するとともに、市民に対し、分かりやすく情報の提供と共有を継続する。
⑥	<u>物資</u> NEW	感染症対策物資の備蓄を進めるとともに、有事に円滑な供給が行える体制を整える。	需給状況を的確に把握するとともに、関係機関と連携して必要量を確保する。	物資不足を防ぐため連携を強化するとともに、相互融通により安定供給を図る。
⑦	市民生活及び市民経済の安定確保	市民の生活と経済活動への影響に備えるとともに、支援体制や事業継続に向けた環境を整備する。	事業継続に向けた準備を促すとともに、速やかな対応により生活と経済の安定を図る。	生活や経済への影響を緩和するとともに、支援策を講じて市民生活の安定を確保する。

木更津市新型インフルエンザ等対策行動計画改定（素案）

ー 主な変更点と今後のスケジュール ー

主な変更点

1. 対応疾患の見直し

主に新型インフルエンザを対象としていたが、新型インフルエンザや新型コロナウイルス感染症だけでなく、その他の幅広い呼吸器感染症も含むものとする。

2. 時期区分及び対策項目の見直し

国及び県行動計画の改定に伴い、時期区分及び対策項目について見直しされた。

時期区分については、6期（①未発生時期 ②海外発生期 ③国内・県内発生早期 ④国内・県内感染期 ⑤小康期）に分けて取組を記載していたが、内容が類似しているものをまとめ、3期（①準備期 ②初動期 ③対応期）に再編。

対策項目については、新型コロナウイルス感染症対応で課題となった項目を中心に項目を独立させ、6項目から7項目に改定（右図）。

対策項目における変更点（赤字）については下記のとおり。

現計画	改定計画
①実施体制	①実施体制
②サーベイランス・情報収集	②サーベイランス・情報収集 一部 NEW
③情報提供・共有	②情報提供・共有、 リスクコミュニケーション
④予防・まん延防止	③まん延防止
	④ ワクチン NEW
⑤医療	⑤ 保健 NEW
	⑥ 物資 NEW
⑥市民生活及び市民経済の安定確保	⑦市民生活及び市民経済の安定確保

一部
NEW

対策項目② **リスクコミュニケーション**

感染者等に対する偏見や差別、偽・誤情報の拡散は、感染症対策の妨げとなるとともに、市民の不安を助長するため、その時点で可能な限り科学的知見に基づく情報を市民に提供・共有する旨追加。

NEW

対策項目④ **ワクチン**

現計画「④予防・まん延防止」において予防接種として記載されていたが、単独項目に位置づけ、市が実施するワクチン接種体制構築のために必要な資材や人材の具体例、接種会場における留意点など記載を充実。

NEW

対策項目⑤ **保健**

現計画「⑤医療」において記載されていたが、単独項目に位置づけ、有事の際に迅速な連携が図れるよう、平時からの保健所等との連携強化、また、健康観察や生活支援等対応期に協力して行う記載を充実。

NEW

対策項目⑥ **物資**

新規追加項目。有事の際に感染症対策を円滑に行うことが出来るよう、平時からの備えについて記載するとともに、対応期には県や近隣市と連携し、備蓄等の供給に関する相互協力について追加。

今後のスケジュール

令和8年3月20日（金）から4月18日（土）までパブリックコメントを実施し、その結果等を踏まえ、**令和8年6月末**に木更津市新型インフルエンザ等対策行動計画を改定し、公表予定。

